

2026年

登録切断穿孔基幹技能者

試験問題（90分）

注意事項

- 1、試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 2、受講番号と氏名を解答用紙の所定の欄に必ず記入すること。
- 3、本冊子に落丁・乱丁・印刷不鮮明の個所などがあつた場合には、申し出ること。
- 4、答案ができあがったら、監督者の指示に従って提出すること。ただし、試験開始30分以内の場合は、退室できないので、静かに着席していること。
- 5、解答の方法は次のとおりとする。
正解と思うものを（1～4）の中から1つだけ選択し、解答用紙の番号に○印にて記入すること。2つ以上記入した場合は、誤答となります。
- 6、解答を訂正する場合は、訂正する解答を消しゴムできれいに消した後、新しい解答を記入すること。
- 7、解答用紙の受講番号・氏名を正しく記入していない者は、採点せずに0点とすること。

[問題作成]

ダイヤモンド工事業協同組合
登録切断穿孔基幹技能者試験委員会

問題 1

登録基幹技能者の活用等に関する、次の記述のうち最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 建設業許可を受けた者が建設工事をする場合は、施工の技術上の管理をつかさどる者として主任技術者を配置しなければならないが、登録基幹技能者は主任技術者の要件として認められている。
- ② 登録基幹技能者は、経営事項審査の審査項目「Z 1：技術職員数」において加点評価（3点）の対象となっている。
- ③ 総合工事業者の多くが「優良技能者認定制度」を導入しているが、登録基幹技能者は「優良技能者認定制度」の認定対象とされていない。
- ④ 公共工事の総合評価方式における競争参加者の施工能力の適切な評価項目として、技能労働者の技能（登録基幹技能者等の資格の保有等）が設定されている。

問題 2

建設キャリアアップシステムのメリットに関する次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 建設キャリアアップシステムでは、業界統一のルールで技能者の就業履歴や保有資格などを、ICカードを通じてシステムに蓄積している。
- ② 建設業は、一定の経験を積んだ技能者が果たしている役割や能力が、処遇に反映される環境が以前から整っている。
- ③ 建設キャリアアップシステムを活用することにより、個々の技能者の能力を評価することが可能となった。
- ④ 建設キャリアアップシステムでは、職種ごとに能力評価基準が策定され、技能者に対して4段階の客観的な技能レベルが付与される。

問題 3

価格戦略について、次の記述のうち、最も適切ではない番号に○印をつけよ。

- ① プライスリーダーは業界シェア No2 の企業。
- ② チャレンジャーは業界トップに挑戦する企業。
- ③ フォロワーはその他大勢、コスト掛けずに2次的市場を狙う。
- ④ ニッチャーは業界の隙間などを狙っている企業。

問題 4

登録基幹技能者の部下育成のOJTに関する次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 登録基幹技能者は作業を通して技能者を指導・教育することでレベルアップの実現を図る。
- ② 登録基幹技能者自身が「得意な部分」を中心にOJTを行う。
- ③ 良い仕事とは【やる気】が条件であり、登録基幹技能者はその【動機付け】となる。
- ④ 登録基幹技能者は部下育成という、仕事に必要な「知識」と「技能」と「学びの態度」についてOJTを行う。

問題 5

職場の上司が部下の育成のために、日常の作業を通して行う指導・教育であるOJTに関する次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 片手間にとか暇があるから行うという考え方ではなく、仕事そのものであるという認識が必要である。
- ② 通常の仕事のペースを落とさず、仕事とOJTとの高いレベルでの調和が必要である。
- ③ 部下が組織外の実態、考え方などに触れて視野を拡大できる機会を設けることが必要である。
- ④ 部下の能力レベルに合わせるのではなく、高いレベルの目標に挑戦させることが必要である。

問題 6

OJTを進める上で重要なポイントは、教える相手に対して、何をどの程度教えるか把握したうえで指導することであり、「目標の設定」に関する次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 設定期間終了時に評価が可能であること。
- ② 定量的で具体的であること。
- ③ 部下が意欲をもって取り組めるものであること。
- ④ 部下の個別の目標設定でなく同一平均目標であること。

問題 7

労働安全衛生法第26条には「作業員が守らなければならない6つの義務が定められている」次の記述のうち、【6つの義務に該当しない事項】を①～④より選択し、その番号に○印をつけよ。

- ① 安全状態を保つ義務
- ② 保護具の着用・使用義務
- ③ 危険行動の禁止義務
- ④ 感電災害防止対策義務

問題 8

建設業法の目的に関する次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 建設業を営む者の資質の向上。
- ② 建設工事の請負契約の適正化等。
- ③ 下請負人の保護
- ④ 建設工事の適正な施工を確保。

問題 9

施工管理について、次の記載のうち、最も適切ではない番号に○印をつけよ。

- ① 原価管理＝コスト
- ② 環境管理＝エンバイロメント
- ③ 品質管理＝クオリティ
- ④ 工程管理＝セフティ

問題 10

PDCAサイクルの『Check』で最も重要な目的はどれか、適切な番号に○印をつけよ。

- ① 計画通りに進んだか責任者を特定する。
- ② 実行計画を分析し、改善点を抽出する。
- ③ 次の計画を作成する。
- ④ 実行内容を記録する。

問題 1 1

工程管理の意義について、次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 作業や設備の負荷を考えず、特定の工程に作業を集中させ工事の進捗を進めること。
- ② 工期内に完了するため、最も能率的な施工方法を考える。
- ③ 品質・精度などが完全であること。
- ④ 工事に実行予算に見合い、最も経済的なものを考える。

問題 1 2

工程管理の手順の順番として、適切な番号に○印をつけよ。ただし、イ～ニは手順の内容を示す。

- イ 実施の段階
- ロ 処置の段階
- ハ 計画の段階
- ニ 検討の段階

- ① ニ→ロ→ハ→イ
- ② ニ→イ→ロ→ハ
- ③ ハ→イ→ニ→ロ
- ④ ハ→ロ→イ→ニ

問題 1 3

工程管理における作業改善の目標について、次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 疲労の軽減・・・疲労はできるだけ少なく、かつ安全に作業ができるように改善する。
- ② 品質の向上・・・作業はその出来栄が良くなるような方法に改善する。
- ③ 経費の削減・・・現場では経費削減を考慮しないようにする。
- ④ 時間の短縮・・・作業は出来るだけ時間のかからないような方法で行う。

問題 14

コンクリート切断・穿孔業者の資材管理について、次の記述のうち最も関連性の低い番号に○印をつけよ。

- ① 人材管理（ヒトの管理）
- ② 作業管理（キカイの管理）
- ③ 資材管理（モノの管理）
- ④ 財務管理（カネの管理）

問題 15

資材管理について、次の記述のうち最も適切な番号に○印をつけよ。

- ① 切断刃物（コアビット）
- ② 切断機械（ロードローラー）
- ③ 切断刃物（コアドリル）
- ④ 切断機械（クレーントラック）

問題 16

「建設工事費の構成」に関する次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 共通仮設費とは、各工事種目に共通の仮設に要する費用であり、現場事務所や仮囲いにかかる費用やさまざまな準備費を指す。
- ② 現場管理費とは、工事現場を管理運用するために必要な費用であり、現場従業員の給与手当等労務管理等にかかる費用を指す。
- ③ 直接工事費とは、工事目的物を作るのに直接要する費用である。
- ④ 一般管理費とは、工事施工にあたる受注者の継続運営に必要な費用（本支店経費）であり、企業の付加利益は含まない。

問題 17

見積で内訳明示する法定福利費の範囲「保険料の内、現場労働者（技能労働者）の事業主（会社）負担分」に関する次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 健康保険料（介護保険料を含む）
- ② 生命保険料
- ③ 厚生年金保険料（児童手当拠出金含む）
- ④ 雇用保険料

問題 18

原価管理では、元請対応が重要である。次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 追加作業の日報は工事完了時期にまとめて元請に提出する。
- ② 毎日の作業日報で契約内と契約外工事を明確にしておく。
- ③ 契約外の追加・変更工事の追加・変更契約及び支払いの請求をする。
- ④ 契約外常用工事の請求書により常用精算する。

問題 19

建設物の設計品質および施工品質に関する次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 発注者自身も関わって設計段階で定められたものが「設計品質」であり、（ねらいの品質）とも言われている。
- ② 施工の実態やコスト等を考慮して無理なく実現できるよう「発注者」が決定する「施工品質」があり、（出来栄えの品質）とも言われている。
- ③ 施工品質を確保・向上させるためには、可能な範囲で作業の標準化が必要であり、それを文書化したのが「作業標準書」である。
- ④ 設計品質の決め方には、「仕様規定」と「性能規定」の2つの考え方がある。

問題 20

品質管理の重要性に関する次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 品質管理とは、設計図書及び仕様書に示された品質基準を十分満足するような工事目的物を最も経済的につくる管理のことである。
- ② 発注者が要求する品質内容は、設計図書及び仕様書にある。
- ③ 品質の高さは、質の高い検査の繰り返しで、施工品質を実現することである。
- ④ 施工品質は工事着手前の十分な事前調査や段取り八分と作業標準書の活用により実現する。

問題 21

「作業標準書による施工品質の確保・向上」における「段取り八分」とは、【PDCAサイクル】の何に該当するのか、最も適切な番号に○印をつけよ。

- ① P : Plan (計画を立てる)
- ② D : Do (計画に基づき実行する)
- ③ C : Check (結果と計画を比べて検討する)
- ④ A : Action (適切な処置を施す)

問題 22

労働安全衛生法について述べた、次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 特に危険な作業等には、建設業法に基づく工事全体の品質や工程などの技術管理を行う主任技術者を選任しなければならない。
- ② 雇入れ時及び定期的健康診断、または有害な業務に従事する労働者に対する特殊健康診断の実施を定めている。
- ③ 労働者の安全と健康を確保するとともに、快適な職場環境の形成を促進することを目的としている。
- ④ 主に労働者を使用する事業者に対し、労働災害を起こさないよう安全配慮義務を定めた法律である。

問題 23

安全管理を効果的に進めるために次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 現場の全員が安全への参加意識を持つこと。
- ② 経営のトップは主導性を発揮せず、現場のリーダーに任せる。
- ③ 安全管理計画を立てる際は、下請け業者を含む現場の職員の意見を尊重する。
- ④ 風通しの良い職場環境を構築する。

問題 24

建設業は製造業よりも安全対策が難しいと言われるが、その理由として、次の記述のうち、最も適切な番号に○印をつけよ。

- ① 作業内容が変化しないので作業に慣れが生じる。
- ② 雇用期間が長いので、継続的な教育、訓練は実施しやすい。
- ③ 多業種の専門工事業者が入場しないので、各作業間の連絡、調整を図ることが容易である。
- ④ 単品受注生産のため、安全対策の規格化や標準化は困難である。

問題 25

2020年4月1日以降民法の改正による契約不適合責任（瑕疵担保責任）に関連する事項に関する次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① これまでの「瑕疵（かし）担保責任」が「契約不適合責任」に改められた。
- ② 瑕疵（かし）も契約不適合も建設物の欠陥を意味する法律上の用語である。
- ③ 契約不適合責任、瑕疵担保責任は、法律で定められた欠陥に対する無償補修や賠償を負うことである。
- ④ 建設物に瑕疵があった場合は、発注者は施工者に対して「相当の期限を定めて補修を請求する」「補修に代えて、または補修とともに損害賠償を請求する」ことはできないとされている。